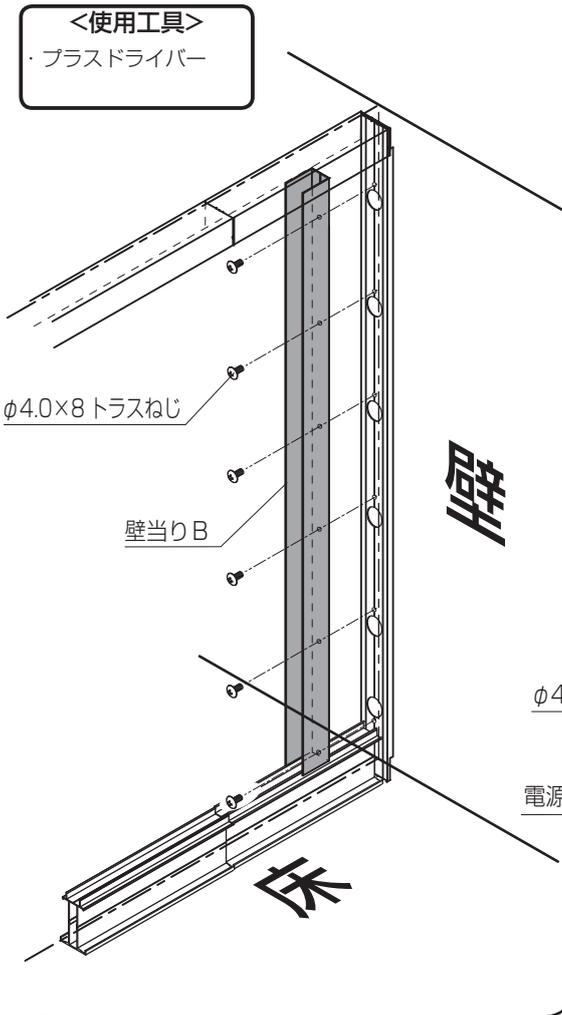


5 壁当りB・Cの取付け

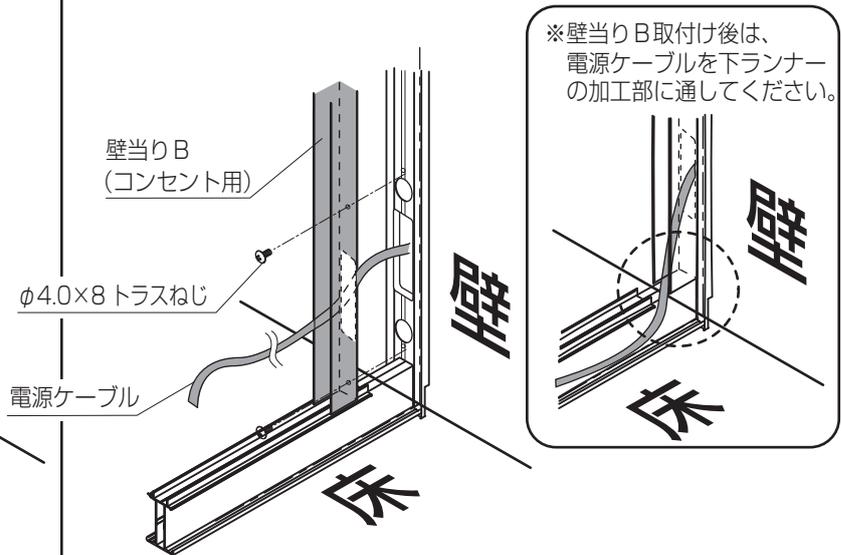
1 壁当りAに壁当りBを図のようにねじで取付けてください。



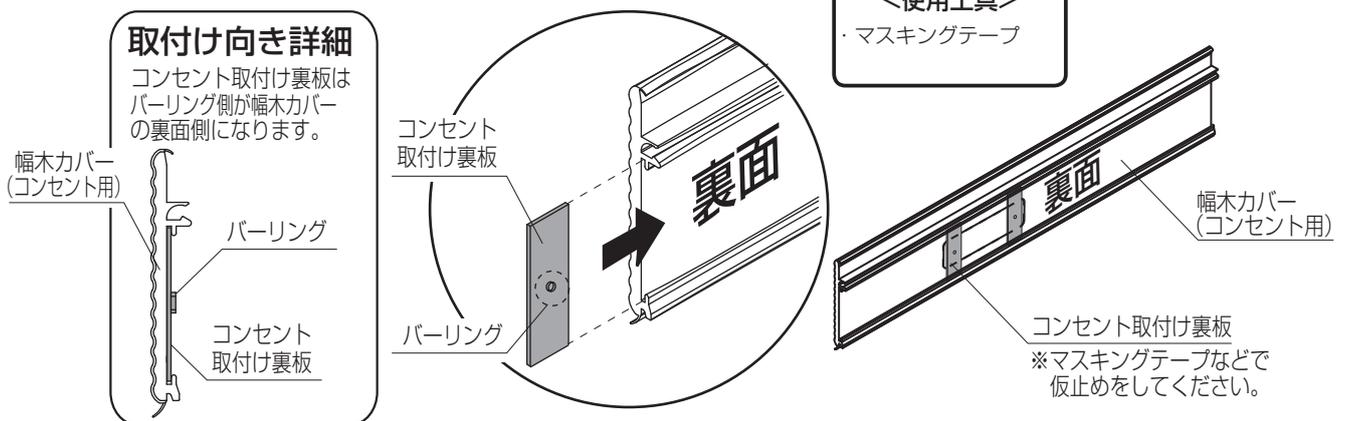
コンセント仕様の場合

①コンセント仕様の場合、コンセントのある建築壁側を壁当りB（コンセント用）にし、コンセントの加工を合わせて取付けてください。

（※.このとき建築壁から出ているケーブルを壁当りBのコンセント加工穴を通して取付けてください。）



②幅木カバー（コンセント用）の端部からコンセント取付け裏板を挿入し、マスキングテープなどで仮止めをしてください。



③次の作業は電気工事店様に依頼をして行ってください。

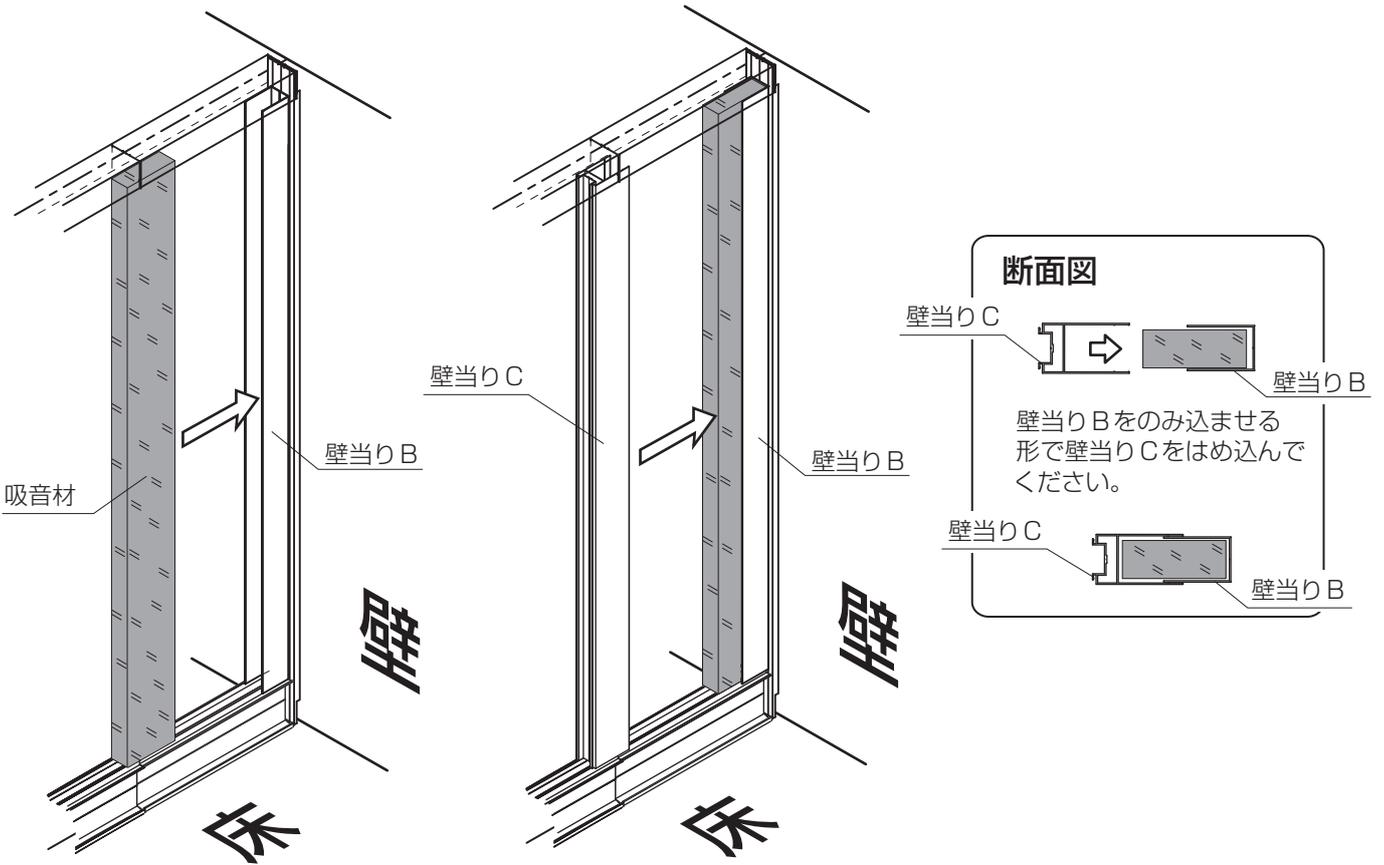
作業内容はP 14を参照してください。

電気工事店様の作業が完了しましたら、通常通りP 27からの作業を行ってください。

▲ 注意

●コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

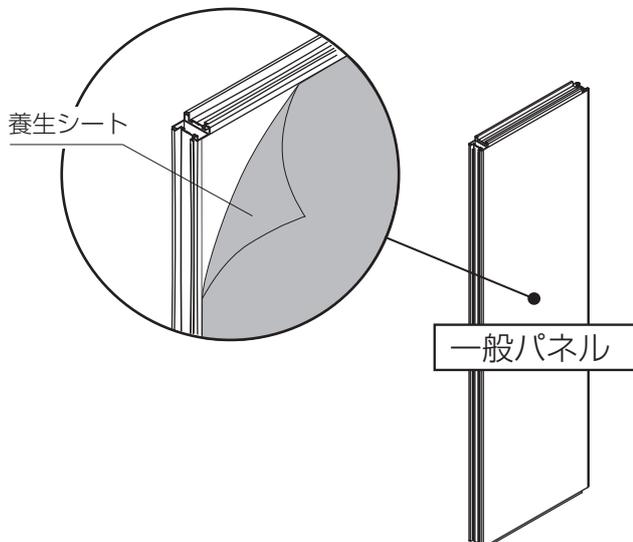
2 吸音材を壁当りBに入れ、壁当りCを壁当りBにはめ込んでください。



6 パネルの建込み

1 一般パネルの養生シートをはがしてください。

※. シースルーパネルの場合は、パネルを建込む前に養生シートをはがす必要はありませんので取付け完了後にはがしてください。

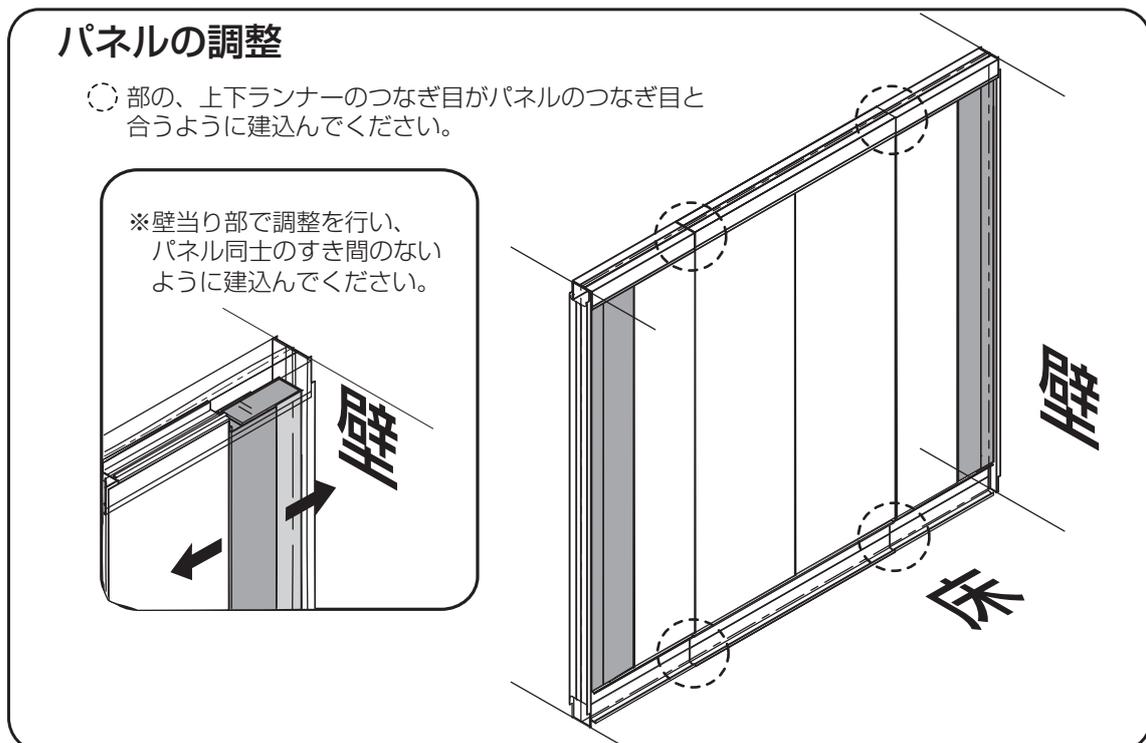
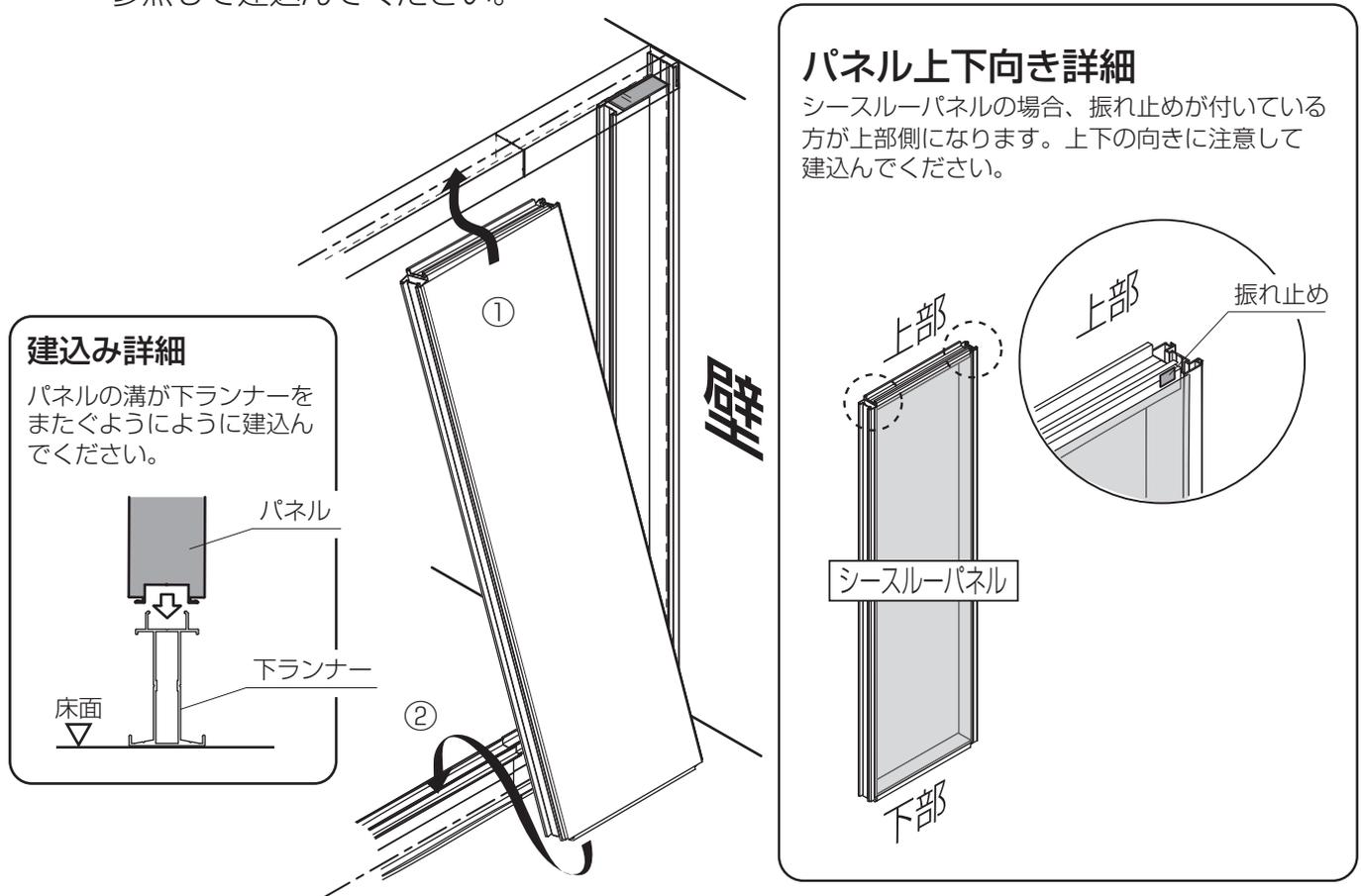


お願い

※養生シートがパネルの表面に残らないようにはがしてください。

2 パネルを持ち上げて①上部を上ランナーにのみ込ませた後、②下部を下ランナーにのせて建込んでください。

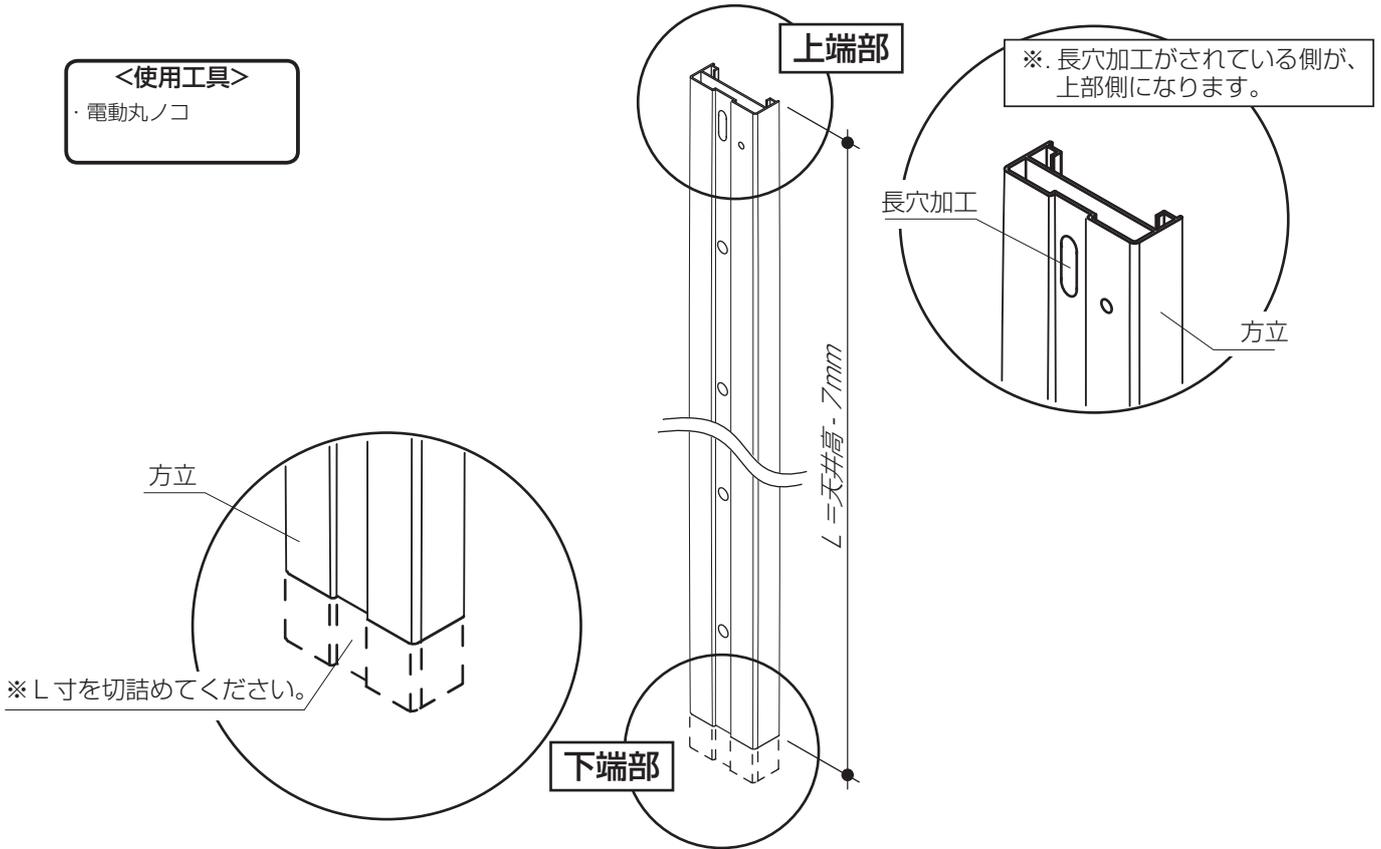
※. シースルーパネルにシースルー引戸を取付ける納まりの場合、シースルーパネルの表裏の向きを、別途スタイルシフトウォール用引戸取付け説明書内の納まり図を参照して建込んでください。



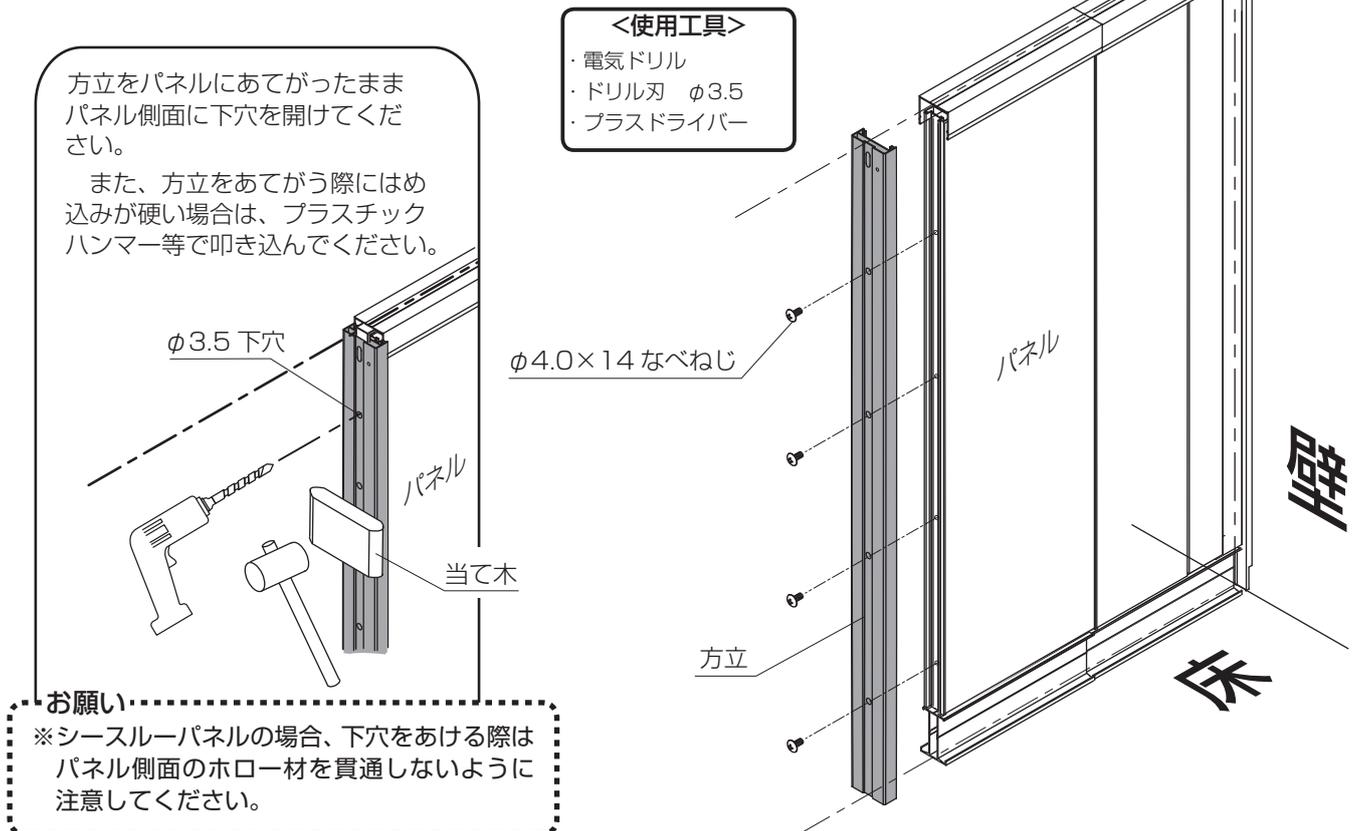
3 パネルの建込みが完了した後に、1章でマーキングをした床・壁・天井のマスキングテープをはがしてください。

7 方立の取付け

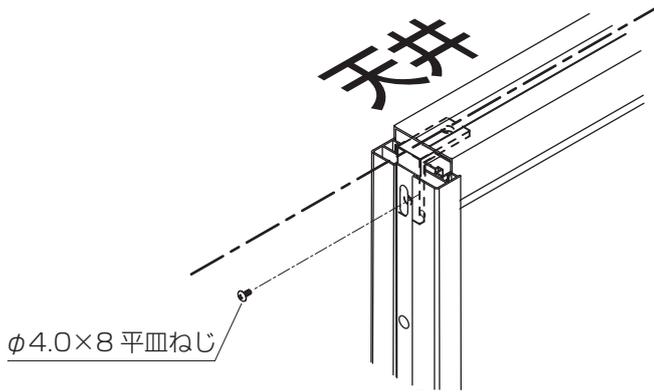
- 1 方立の設置個所の天井高を測定し、方立のL寸が「方立L = 天井高 - 7mm」になるように、方立の下端部を切詰めてください。



- 2 方立をパネルにあてがい、方立の穴加工を利用してパネルの側面にφ3.5の下穴をあけてください。
- 3 方立をパネルの側面にねじで取付けてください。

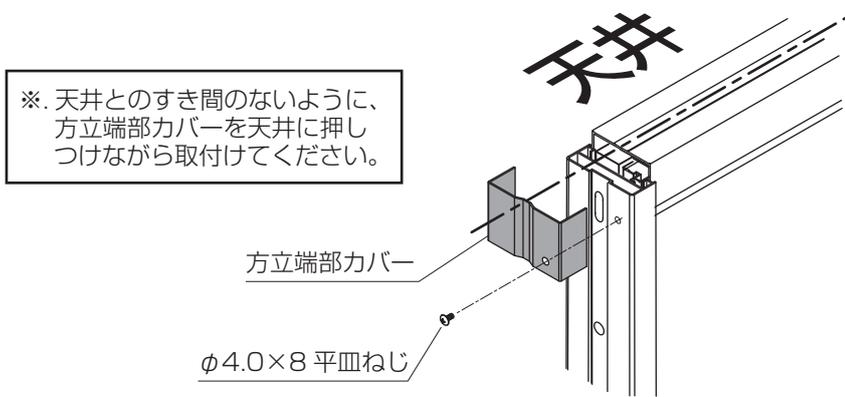


- 4** 方立上部の長穴にねじを取付け、Lアングルと方立を固定してください。
 ※袖壁納まりの場合のみになります。独立壁の場合、この作業はありません。



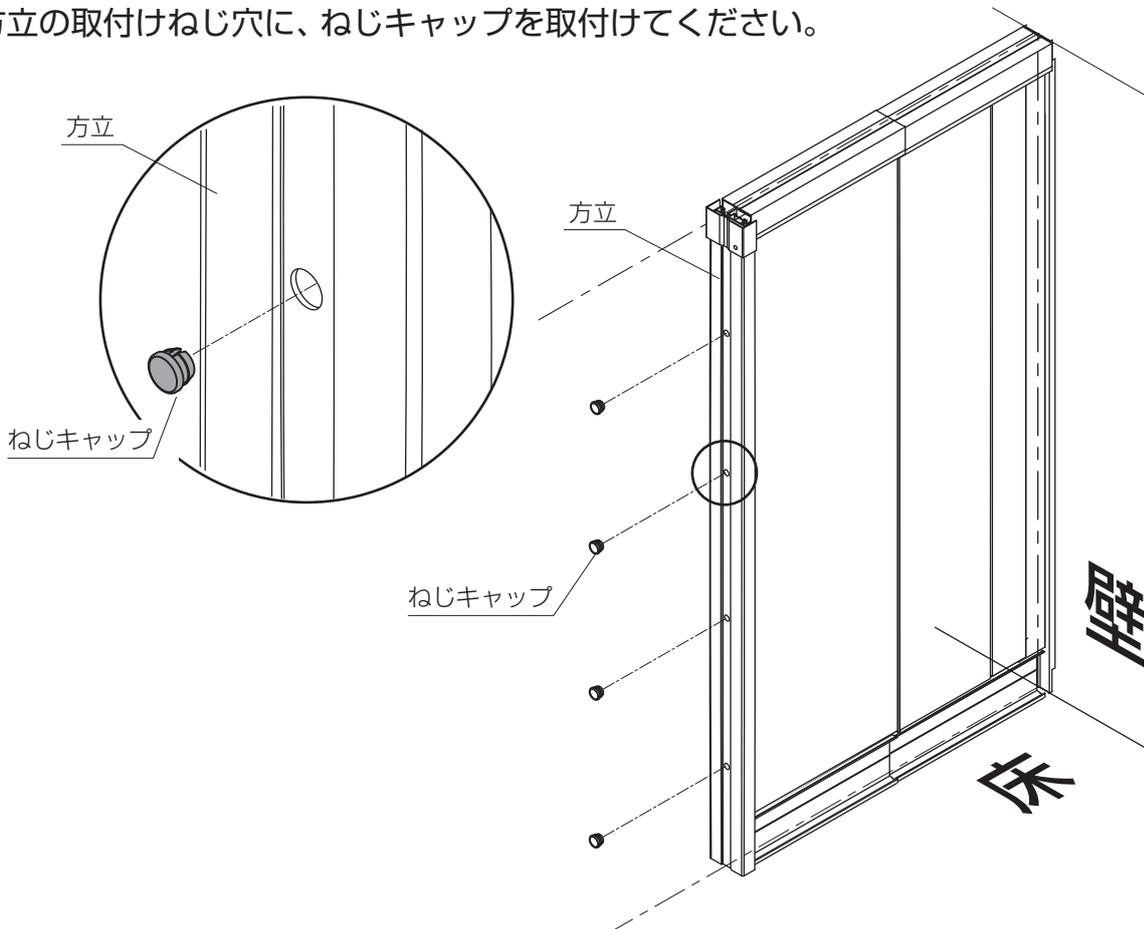
<使用工具>
 ・プラスドライバー

- 5** 方立上端カバーを、方立の上部にねじで取付けてください。



<使用工具>
 ・プラスドライバー

- 6** 方立の取付けねじ穴に、ねじキャップを取付けてください。



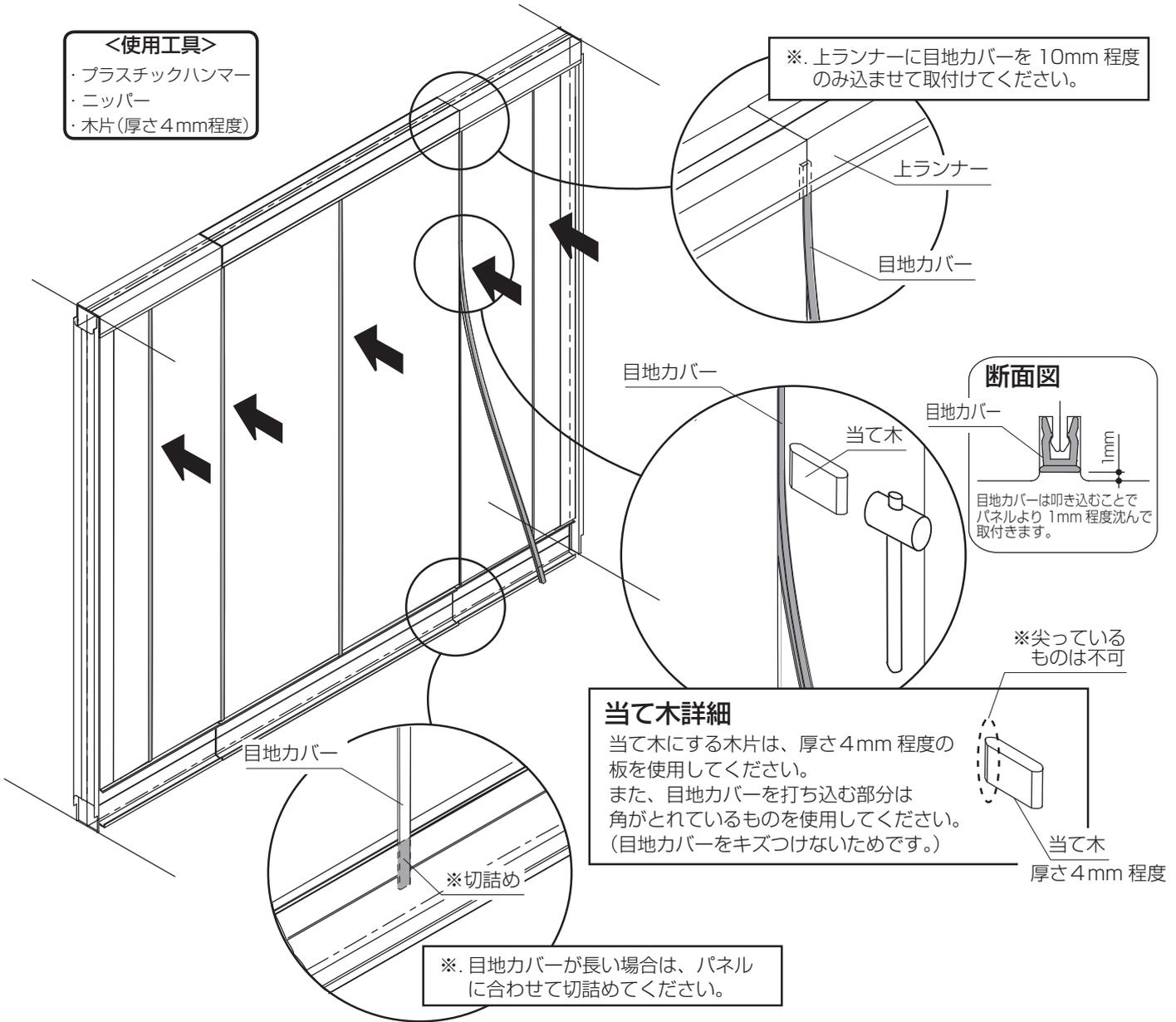
8 目地カバーの取付け

1 パネルとパネルをジョイントする目地カバーを取付けます。目地カバーを上ランナーにのみ込ませて、木片などで当て木をして上部側からプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。

<使用工具>

- ・プラスチックハンマー
- ・ニッパー
- ・木片(厚さ4mm程度)

※. 上ランナーに目地カバーを 10mm 程度のみ込ませて取付けてください。



断面図

目地カバーは叩き込むことでパネルより 1mm 程度沈んで取付きます。

※尖っているものは不可

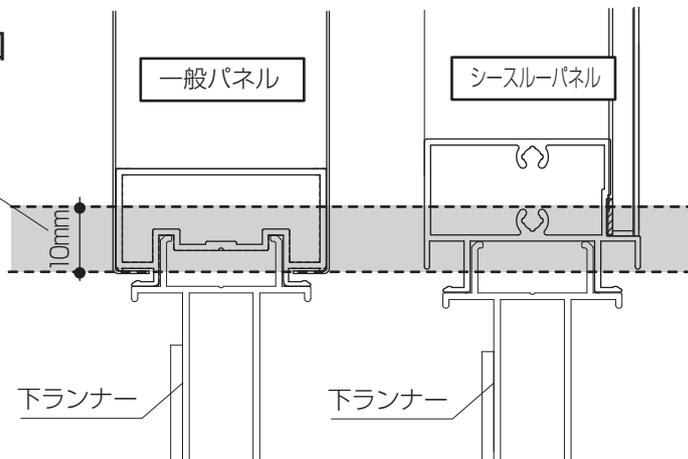
当て木詳細

当て木にする木片は、厚さ 4mm 程度の板を使用してください。
また、目地カバーを打ち込む部分は角がとれているものを使用してください。(目地カバーをキズつけないためです。)

当て木
厚さ 4mm 程度

目地カバー切詰め詳細図

※目地カバーの端部がこの範囲(幅木カバーのみ込み寸法)になるように切詰めてください。



9 幅木カバーの取付け

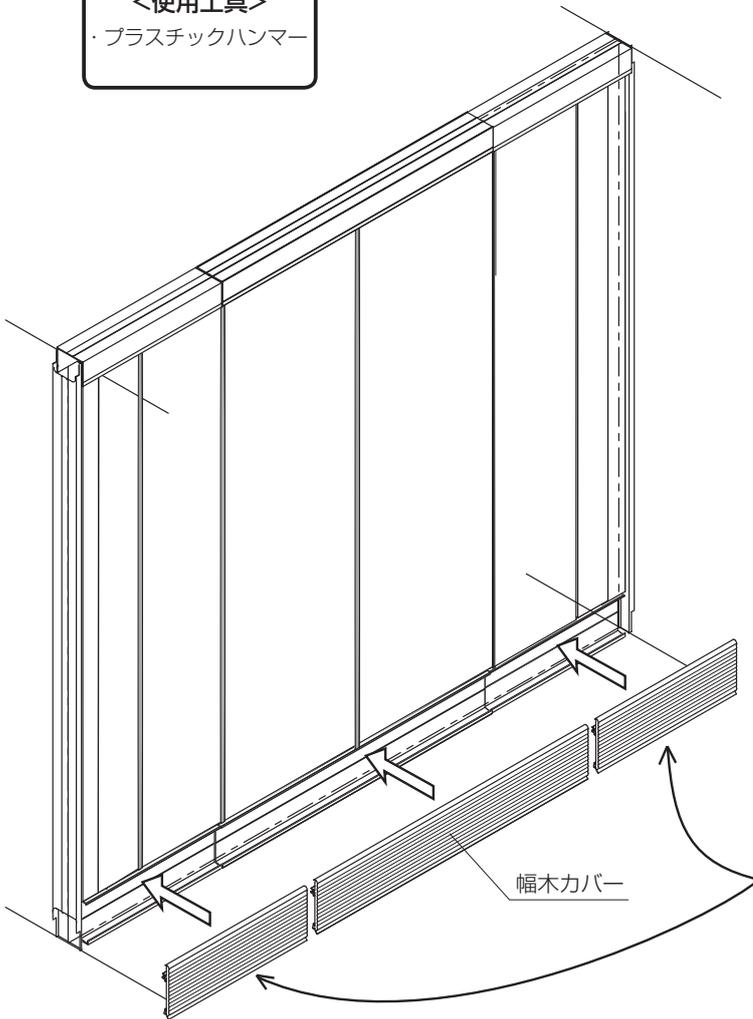
1 下ランナーに幅木カバーを叩き込んで取付けてください。

※. 幅木カバーは下ランナーと同じ長さのものを同じ場所に取り付けてください。

※. はめ合いが硬い場合は、当て木をしてプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。

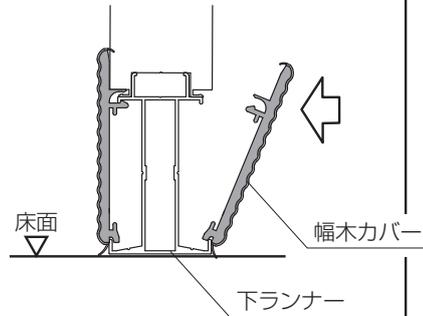
<使用工具>

・プラスチックハンマー



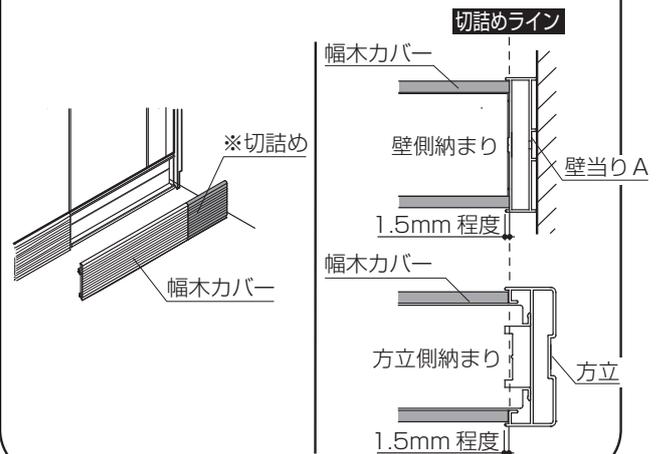
取付け詳細

下ランナーに幅木カバーの下側を先にかけた後、上側を叩き込んで取付けてください。

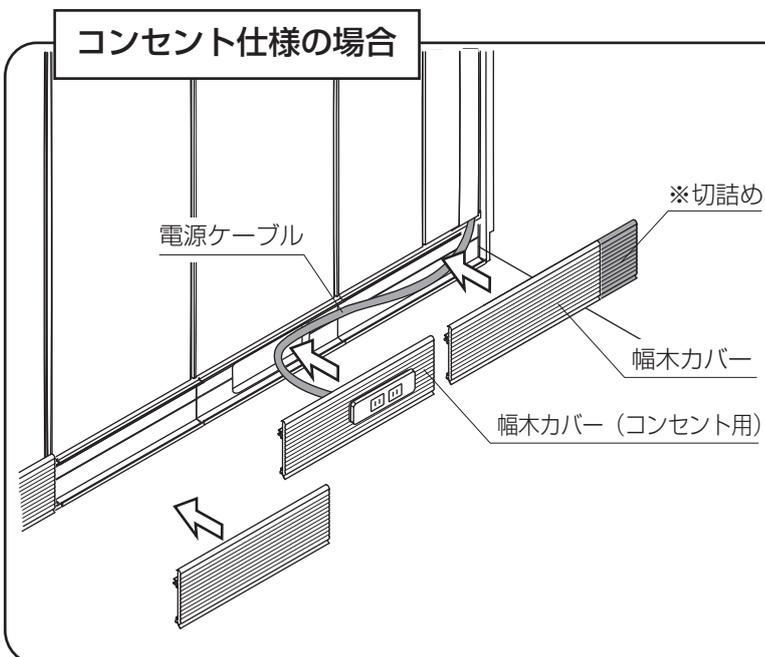


切詰め詳細

幅木カバーの建築壁側、及び方立側は長さを合わせて切詰めてください。



コンセント仕様の場合



①コンセント仕様の場合も同様に建築壁側の幅木カバーは長さを合わせて切詰めてください。

※. 幅木カバー (コンセント用) の切詰めはしません。

②電源ケーブルが下ランナーと幅木カバーの間を通るようにし、幅木カバーを取付けてください。

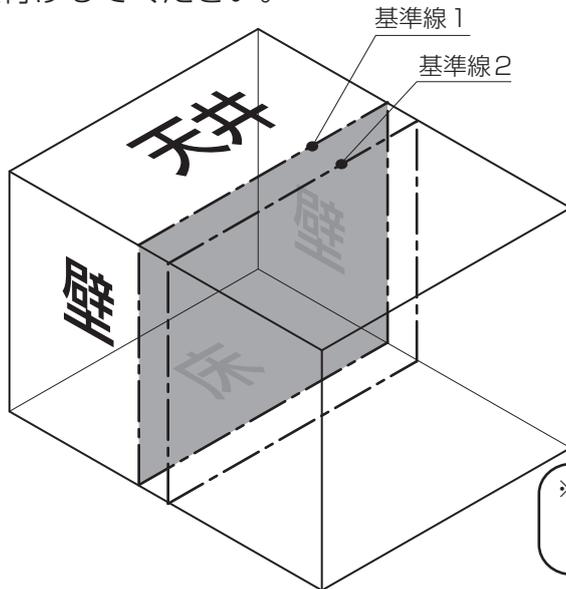
お願い

※ケーブルを無理に引っ張らないでください。

10 ダブル壁の取付けについて

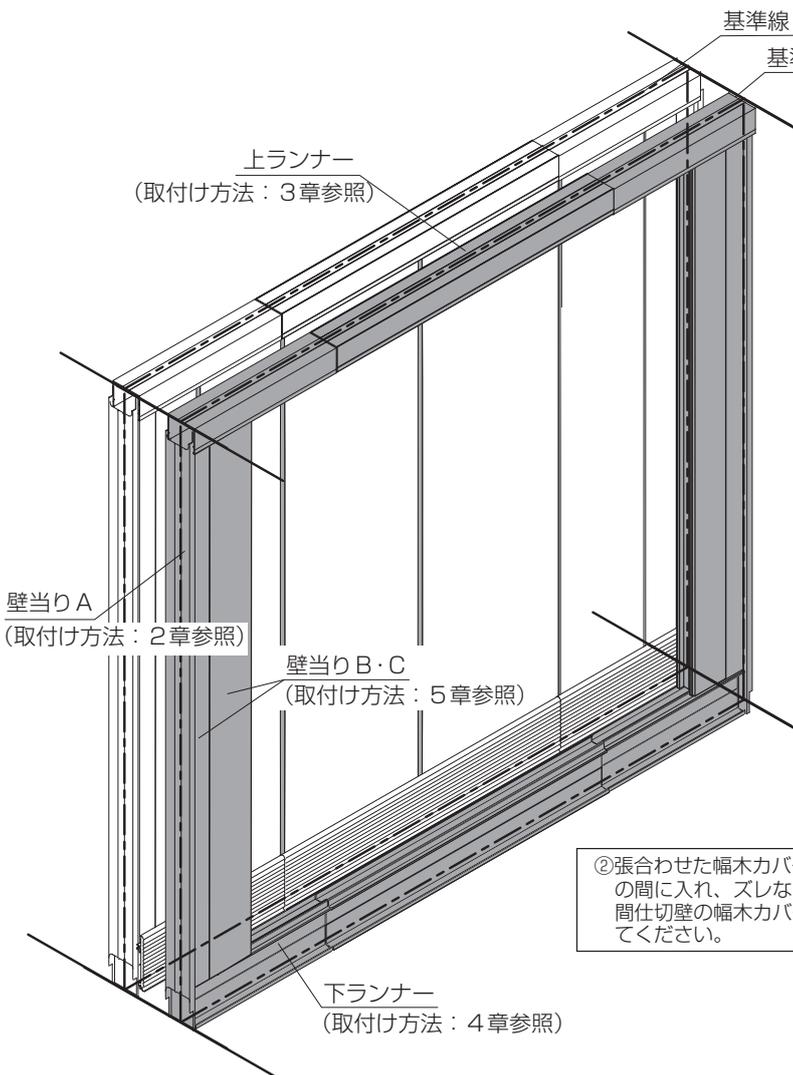
1 1章～9章を参照し、基準線1にマーキングをした個所に、先工程として片側の可変間仕切壁を取付けてください。

※. ダブル壁(片面コンセント仕様)の場合は、コンセントを取付ける可変間仕切壁から先に取付けしてください。



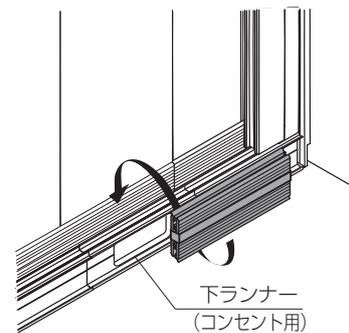
※ダブル壁の場合、「袖壁」「独立壁」納まりはありません。
「壁一壁」納まりのみの設定になります。

2 1章～5章を参照し、基準線2にマーキングをした個所に、後工程としてもう片側の可変間仕切壁を「5章 壁当りB・Cの取付け」まで取付けてください。



ダブル壁 (両面コンセント仕様) の場合

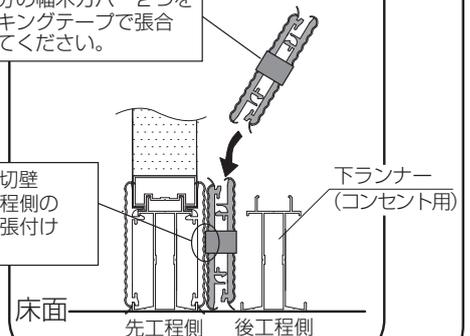
次項4で取付ける吸音材がコンセントの結線部に直接触れるのを防ぐため、後工程で取付ける間仕切壁のコンセント部となる個所には、間仕切壁の間に予備分の幅木カバーをテープで取付けてください。



取付け手順詳細

① 予備分の幅木カバー2つをマスキングテープで張合わせてください。

② 張合わせた幅木カバーを可変間仕切壁の間に入れ、ズレないように先工程側の間仕切壁の幅木カバーにテープで張付けてください。



3 1章でマーキングをした床・壁・天井のマスキングテープをはがしてください。

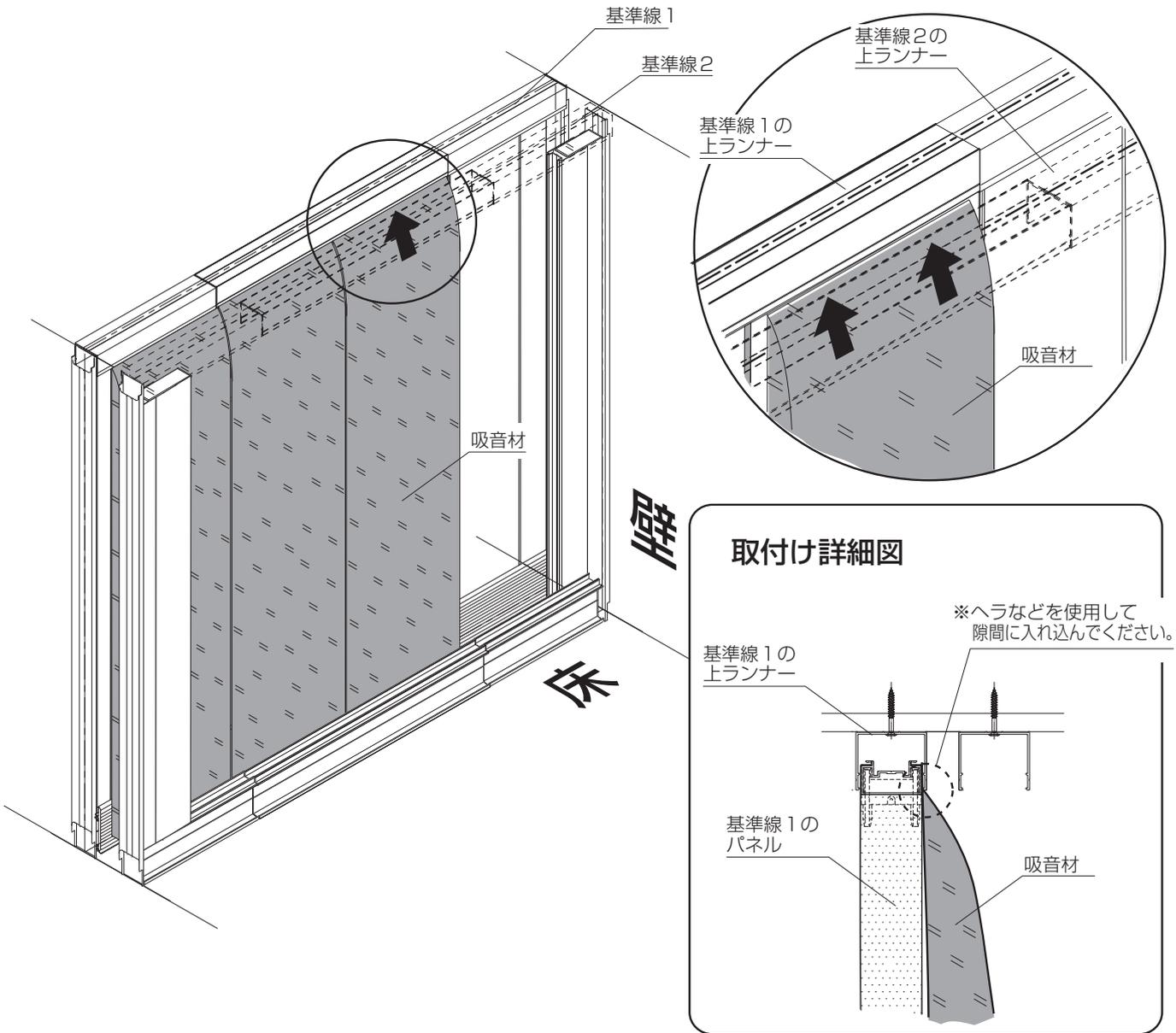
4 吸音材をL = H(h)の寸法にカットしてください。

※コンセント仕様の場合、コンセントを取付ける位置の吸音材はL = H(h) - 85mmの寸法にカットしてください。

<使用工具>
・ハサミ

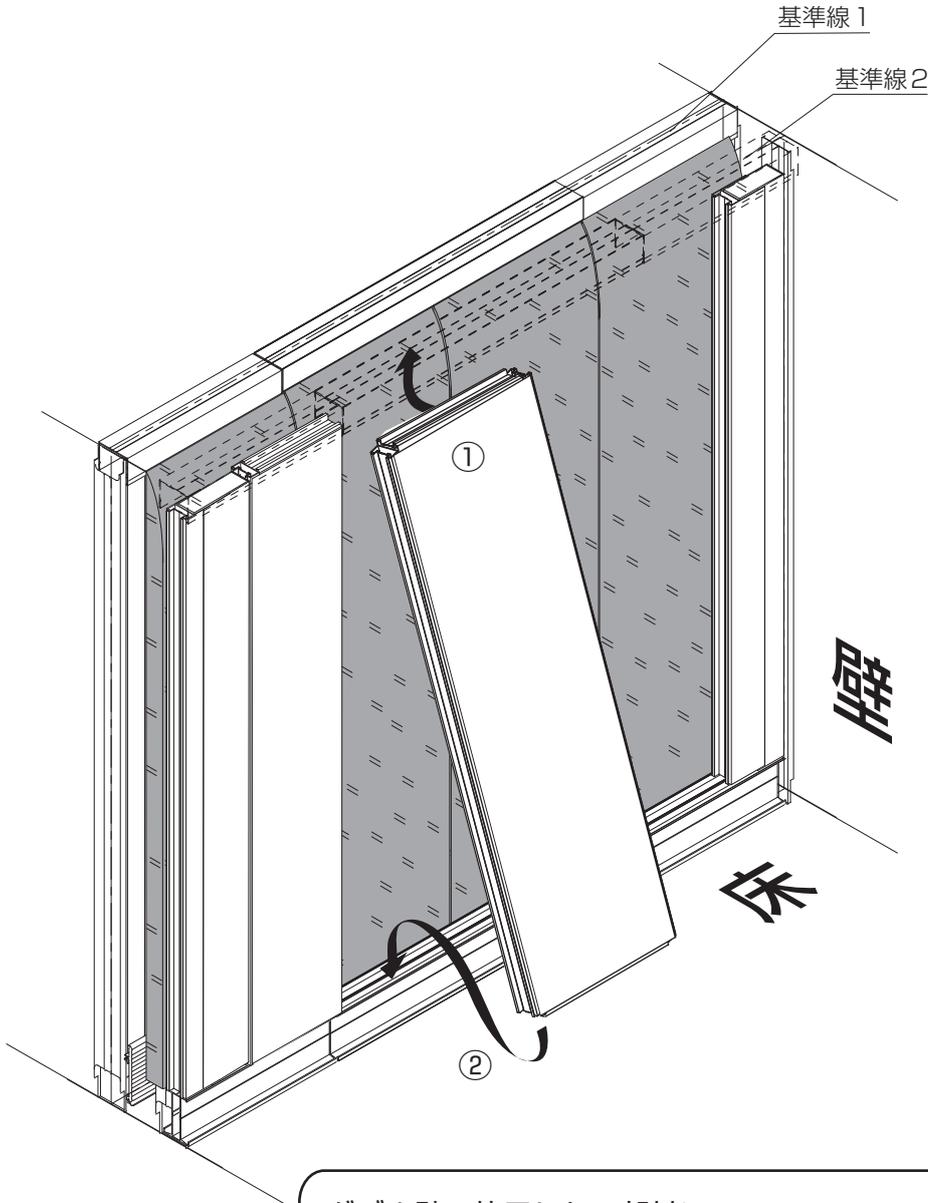
5 先に取付けが完了している基準線1の可変間仕切壁の上ランナーとパネルの間に、ヘラなどを使用して吸音材の上端部を入れ込んで吊るしてください。

<使用工具>
・ヘラ



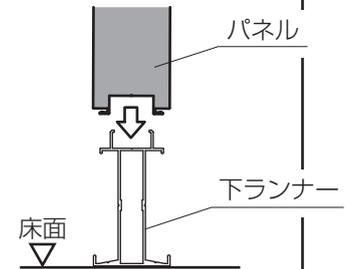
6 パネルの養生シートをはがしてください。(6章1を参照してください。)

7 基準線2の可変間仕切壁にパネルを建込みます。パネルを持ち上げて①上部を上ランナーにのみ込ませた後、②下部を下ランナーにのせて建込んでください。



建込み詳細

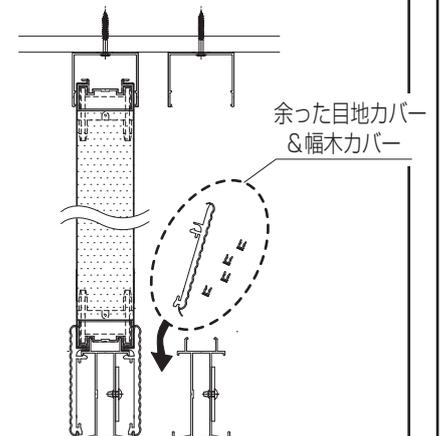
パネルの溝が下ランナーをまたぐように建込んでください。



ダブル壁の使用しない部材について

※. 基準線2の間仕切壁どうしの内側となる個所には、目地カバー及び幅木カバーの取付けは行いません。余った目地カバー及び幅木カバーは、移設する際に使用しますので、パネルを建込む際に2つの間仕切壁の間に入れてください。

断面図



- 8 基準線2の可変間仕切壁に目地カバーを取付けてください。(8章を参照してください。)
- 9 基準線2の可変間仕切壁の下ランナーに、幅木カバーを叩き込んで取付けてください。(9章を参照してください。)

11 取付け後の製品確認と養生

▲注意

- 取付け完了後、ゆるみやガタツキ、及び使用上の不具合や危険な個所がないかを確認してください。
また、商品にキズや、ヘコミなどがいないか確認してください。
- 取付け完了後に清掃を行い、引渡し前にキズがつくおそれがある場合はダンボールなどで養生をしてください。

12 移設について

- 1 移設をする際、下表の部品は消耗品となります。部品を手配して新品に交換してください。

| 名称 | 代表部品No |
|-------------|---------|
| 目地カバー | CY-2378 |
| 幅木カバー | CY-2460 |
| ランナー部品セット | SE-1828 |
| 方立取付け部品セット | SE-1829 |
| 方立上端カバーセット | SE-1683 |
| 石膏くぎセット | SE-1812 |
| 壁当り取付けねじセット | SB-3879 |

13 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」という)が発生した場合には、お取り扱いの取付け業者、工務店、販売店または当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

取付け業者より商品の引渡し日(※1、※2)から起算して次の期間とします。

①商品の不具合については2年間。

※1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日を起算日とします(ただし、保証対象は改修部分のみ)。

※2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体貼付けラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、取付け上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩擦など。木製品の反り、曲がり、ねじれ、ささくれ、ひび割れ、色褪せ、変色など、樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガス、給湯機器などの燃焼ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦メンテナンス上の不備に起因する商品の不具合(例えば商品又は部品を長期間、清掃く水洗いなどくをしないことによっておきる腐食、シミ、汚れの発生など)
- ⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨実用化されている技術では予測及び防止することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合
- ⑪植栽による不具合(例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など)
- ⑫引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理(お手入れ)を行わなかったことによる不具合
- ⑬お客様自身による組立て、取付け、修理、改造(必用部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑭本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

商品に関するお問合せは、お客様相談センターまで

- ・商品のご購入・使い方などのご相談
- ・有償での修理と部品のご購入

☎ 0120-126-001 Fax03-3638-8447

受付時間…月～金 9:00～18:00(祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く)

外壁材に関する商品相談は…旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル 0570-001-117

店舗関連商品に関する商品相談は…Tel 03-3638-8152 月～金 9:00～17:00(祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く)

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行う場合がありますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

<http://www.lixil.co.jp/>

| | | | | |
|------|----------|--------|------|-------------|
| 取説番号 | MBA-149A | 事業所コード | CPZ1 | 2011.7.1 発行 |
|------|----------|--------|------|-------------|

